

1 学校研究全体計画

1. 令和4年度 研究主題

「トライ & エラーしながら学ぶ子の育成」
～みんなが「分かる」「できる」「楽しい」算数授業を目指して～

2. 研究主題設定の理由

(1) 学校教育目標との関わりから

本校では、「豊かな知性と人間性を備えた、たくましい犬丸っ子の育成」という学校教育目標のもと、「考える子」「助け合う子」「たくましい子」の育成を目指している。

「自ら学ぶ意欲をもち、自己も他者も大切にできる子」というめざす児童像の具現化のために、一人一人が自分の考えをもち、学び合いを通してわかる喜びを感じられる教育活動を推進していく。そして、「問題の解決に向けて見通しもち、粘り強く取り組み、問題解決の過程を振り返り、よりよく解決したり、新たな問いを見いだしたりする」という主体的に学ぶ児童をめざしていく。そのために、「間違いは宝物」とし、試行錯誤を楽しみながら学ぶことが大切であると考え、今年度の研究主題を設定した。

(2) 児童の実態から

新学習指導要領では、児童が未来を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成するための「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善が求められている。その実現のため、「学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組む学び、協働・対話を通じ、自己の考えを広め深める学び、また、習得・活用・探究という活動の中でより深く理解し課題を見い出し、解決していく学び」をめざしていかなければならない。

本校の児童は、与えられた課題に素直に取り組んだり、活動の見通しがもてたときには意欲的に学習に取り組んだりする姿が見られる。しかし、クラスの中には、授業への参加が難しい子や、学習内容を理解するために支援を必要とする子がおり、授業づくりの工夫が必要である。

昨年度は、「授業ユニバーサルデザイン」の焦点化に重点を置き、「ゴールの明確化」や「児童の思考を引き出す教師の働きかけ」に取り組んだ。成果として、算数科の児童アンケートにおいて、「わかったことやできることが増えた」という問いに対して、肯定的評価をしている児童が90%だった。このことから、授業を通して力がついた・できるようになったという肯定感を持っていることが分かった。

しかし、「問題を解くときにおもしろそう、やってみたいと思ったか」という問いに対しては、78%だった。これらの結果から、授業の中で「なんで?」「どうやって?」「やってみたい!」という試行錯誤しながら学ぼうとする姿については、課題が残った。

そこで、今年度はユニバーサルデザインの3つ視点の中でも、「焦点化」における

① 算数科で育成する資質・能力の明確化（ゴールの明確化）**焦点化**

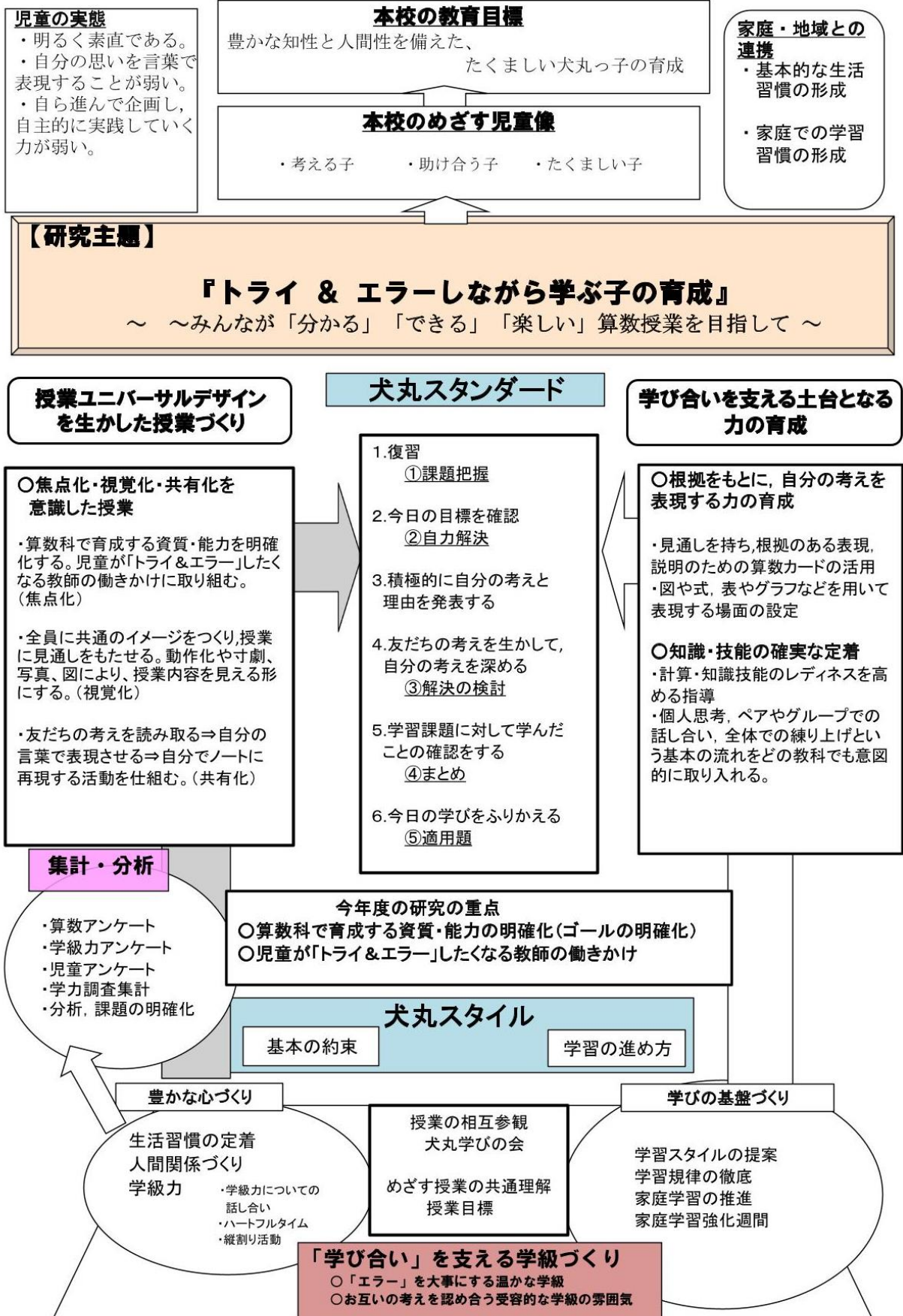
② 児童が「トライ&エラー」したくなる教師の働きかけ **焦点化**

の授業改善に取り組んでいく。さらに、学級経営において、「エラー」を大事にする温かな学級、お互いの考えを認め合う受容的な学級の雰囲気を築いていきたい。

このような日々の実践を通して、児童が「分かった」「できた」「楽しい」と実感し、主体的に学ぼうとする態度が身に付くと考え、この主題を設定した。

3 研究全体構想図

小松市立犬丸小学校



4. 研究内容

みんなが「分かる」「できる」「楽しい」算数授業

「トライ&エラーしながら学ぶ子の育成」を実現する算数科学習指導法を明らかにするために、みんなが「分かる」「できる」「楽しい」算数授業を目指し、以下の手立てについて、実践的に明らかにする。

(1) 授業ユニバーサルデザインを生かした授業づくり

◎授業を焦点化（シンプルに）する

「今日は何を勉強するのか。今、何を考えるのかをはっきりさせる。」

(具体的な内容) 今年度の重点

①算数科で育成する資質・能力を明確化（ゴールの明確化）

・ゴールで求めたい児童の言葉（まとめ・振り返り）や姿を明確にする。

②児童が「トライ&エラー」したくなる教師の働きかけをする。

・児童が考えたくなる問題提示の工夫（間違い・選択肢・隠すなど）
・思考を広げ深める発問の工夫

◎授業を視覚化（ビジュアルに）する

百聞は一見にしかず！「思考を助けるために、学習していることを分かりやすく表す。」

(具体的な内容)

①全員に共通のイメージをつくり、授業に見通しをもたせる。

②動作化や寸劇、写真、図により、授業内容を見える形にする。言葉だけでなく、学習内容や学習教材を視覚的に提示する。

◎授業を共有化（シェア）する

「授業中に、一緒に学んでいることを感じ、仲間から学びとる。」

(具体的な内容)

① 友だちの考えを読み取らせる。

② 友だちの考えを自分の言葉で表現させる。

③ ペアや全体の話し合いで自分の言葉で表現したあとに、ノートに再現させる。

(2) 学び合いを支え、土台となる力の育成

①根拠をもとに、自分の考えを表現する力の育成

・見通しをもち、根拠をもった説明をするための算数カードの活用
・図、表やグラフなどを用いて、自分の考えを表現する場面の設定

②知識・技能の確実な定着と言語活動の充実

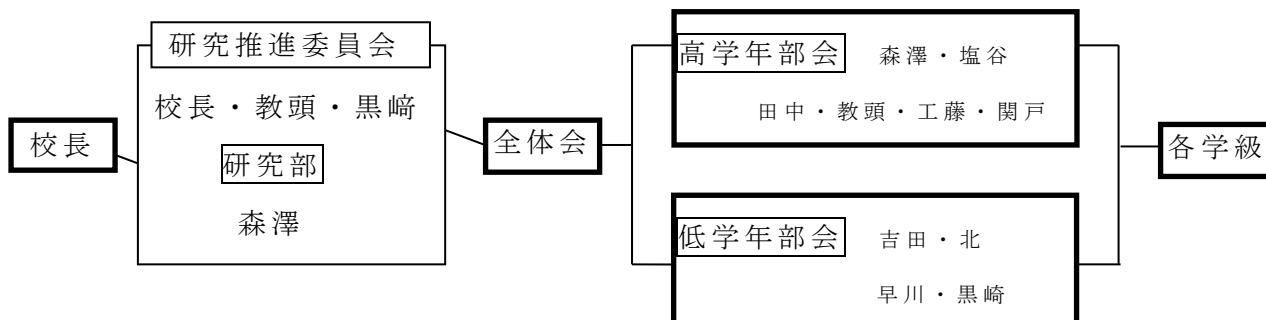
・計算技能や知識・技能のレディネスを高める指導
・個人思考、ペアやグループでの話し合い、全体での練り上げという基本の流れをどの教科でも意図的に取り入れる。

3) 「学び合い」を支える学級づくり

- ・「エラー」を大事にする温かな学級
- ・お互いの考えを認め合う受容的な学級の雰囲気

5. 研究組織

(1) 研究組織図



(2) 研究の進め方

- ・低学年・高学年部会を中心に教材研究や授業研究を進める。
 - ・一人年1回の全体授業を行う。
 - ・研究授業の指導案は細案とし、指導案は3日前までに配布する。
 - ・事前研以外は、全体研究会とする。事前研（指導案作成）は、低・高部会で行う。
 - ・全体で授業を参観し、整理会は、全体会で行う。
- 《①事前研（部会）→ ②模擬授業（全体）→ ③研究授業（全体）→ ④授業整理会と次回の授業の方向性（全体）》
- ・先進校の視察研修や研究会に参加し、校内研究会を通して研究を深め、指導力を高めていく。
 - ・校内での授業の自由参観を活発化し、教師間、児童間での学び合いの授業への意識の向上を目指す。

(3) 研究授業の視点

3つの視点【焦点化 視覚化 共有化】

1. 授業を**焦点化**（シンプルに）する。 今年度の重点

- ①ゴールで求めたい児童の言葉（まとめ・振り返り）や姿を明確にすることができたか。
- ②児童が「トライ&エラー」したくなる教師の働きかけができたか。
 - ・児童が考えたくなる問題提示の工夫（間違い・選択肢・隠すなど）
 - ・思考を広げ深める発問の工夫

2. 授業を**視覚化**（ビジュアルに）する。

- ①全員に共通のイメージをつくり、授業に見通しをもたせることができたか。
- ②動作化や寸劇, 写真, 図により, 授業内容が見える形にすることができたか。

3. 授業で**共有化**（シェア）する。

- ①友だちの考えを読み取らせていたか。
- ②友だちの考えを自分の言葉で表現させていたか。
- ③ペアや全体の話し合いで自分の言葉で表現したあとに, ノートに再現させていたか。

思考を広げ深める発問の工夫

子供の思考を引き出す7つ発問	具体的な発問
ア 意味・方法を問う	「それは、どういう意味かな?」「どうやって考えたの?」
イ 理由・根拠を問う	「どうしてそうなるのかな?」「どうしてそう思ったの?」
ウ 続きを問う	「この続きを友だちはどう説明すると思う?」
エ ヒントを問う	「みんなが気づくには、どこを見ればいいのか?」（視点） 「何を使って考えればいいのか?」（方法）
オ 他の表現を問う	「この式を図で表すとどうなるのかな?」（置き換え）
カ 正しい答えに対して否定的にとらえる	「それって偶然できたんじゃない?」（ゆさぶり発問） 「それならこちらの面でもいいでしょ?」
キ 誤答に対して肯定的にとらえる	「なるほど、これならいつでも使えそうだね。」 （ゆさぶり発問）

2 研修計画

月日	会合	内容
4月7日(木)	第1回研究全体会	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の主題・副題・研究全体構想図の確認 ・研究内容についての協議 ・研修計画について ・授業日決定, 計画訪問の予定
4月27日(水)	第2回研究全体会	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案の書き方について ・今年度の取り組みについて ・授業単元決定
5月13日(金)	模擬授業	・研究授業(4年)の模擬授業及び指導案検討
5月30日(月)	模擬授業	・研究授業(4年)の模擬授業及び指導案検討
6月16日(木)	第3回研究全体会	・研究授業(4年)及び授業整理会
6月日()	模擬授業	・研究授業(6年)模擬授業及び指導案検討
6月日()	第4回研究全体会	・研究授業(6年)及び授業整理会
8月日()	第5回研究全体会	<ul style="list-style-type: none"> ・一学期のまとめと課題 ・研修報告
9月日()	模擬授業	・研究授業(3年)模擬授業及び指導案検討
9月日()	第6回研究全体会	・研究授業(3年)
10月日()	模擬授業	・研究授業(1年)模擬授業及び指導案検討
10月日()	第7回研究全体会	・研究授業(1年)
11月日()	模擬授業	・研究授業(2年)の模擬授業及び指導案検討
11月日()	第8回研究全体会	・研究授業(2年)及び授業整理会
11月日()	模擬授業	・研究授業(5年)模擬授業及び指導案検討
11月日()	第9回研究全体会	・研究授業(5年)及び授業整理会
12月日()	第10回研究全体会	・研究のまとめ 提案
1月日()	第11回研究全体会	・研究のまとめ 読み合わせ
2月日()	第12回研究全体会	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の成果と課題について ・来年度へ向けての取組について